

第11回 NUDA サロン

東日本大震災から見た 誰もが暮らしやすい仮設住宅とは

避難所・仮設住宅・ユニバーサルデザイン

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、大きな被害と衝撃を、日本のみならず世界にもたらしました。そして、多くの方々が避難を与儀なくされました。

今回の NUDA サロンでは、震災発生から被災地にボランティアとして参加された理学療法士の菊地 伸様に「東日本大震災から見た誰もが暮らしやすい仮設住宅とは」というテーマでお話を伺います。

日本理学療法士協会の東日本大震災派遣ボランティアに理学療法士として参加され、避難所や仮設住宅という特殊な環境におかれた高齢者や障がい者支援を行ってきた御経験から、避難場所におけるユニバーサルデザインについて、札幌の現状を交えてご講演をいただきたいと思います。

第11回 NUDA サロン

記

日時 平成24年2月3日（金） 18:00～20:00（開場17:30）

会場 札幌市立大学サテライトキャンパス

札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12階

講師 菊地 伸 様

（社会福祉法人宏友会 札幌市西区介護予防センター西町 センター長）

参加費 1,000円（但し、NUDA 会員、学生は無料）

参加をご希望される方は、平成24年1月31日（火）までにEメールまたはFAXでご連絡ください。

メールアドレス mail@nudaweb.jp FAX 011-640-7771